(日 届 水)

H

7 =

假首都ル

在った

チ

2

に移る 1 ラ

n

たといはれるない政府並に國立ポル

なほ敗退せるボ

ルスカ銀

ニアピ

の國境シ

國境の小都シー

軍三方面

より

F

時最高會

組織整備を行動を起さる を表情である はザール・ブリ は、 で過去 は、 で過去 で過去 で過去 で過去

部職線最近の情勢を見に達した情報大の通りの批別につき十一日が

N

ブリ 1

ツケンを挟撃か

更に

**正午これを中外に競表、** 

、政府の進むべき方途がは十二日間議におい

〈政固變

方助機新權不の 策し勢中の動處 をこに央實の理

## 升山 三十月九

介勇忠 〇五社

文字、校官

發國 也)

、國家總動員體制の整備强化、就中總動員體制の整備强化、就中總動員體制の整備强化、就中總動員體制の整備强化、就中總動員體制度の耐度の耐度の制新ならびに運用の政務へ高速にして統一ある處理を確保するは國家の急務なるに運用の政務を制度の制新ならびに運用。國政の制度の制新ならびに運用。國政の制度の制新ならびに運用。國政の制度の制新ならびに運用。國政の制度の制新ならびに運用。國政の制度の制新ならびに運用。國政の制度の制新ならびに運用。國政を制力。

策を聲

が支を制すた

である。日下獨佛嗣遠中職火に出き込まれず平穏な地方はますージュ山腹東面ヴァイセンフールよりローテルデールに近きライン河までの地方はませい。日下獨佛嗣遠中職火に出

都ホテル 高木榮三氏(青油員)同 高木榮三氏(青油員)同 ・一川瀬市氏(本大路)同 ・一川瀬市氏(本大路)同 ・一川瀬市氏(本大路)同 ・一川瀬市氏(本大路)同 ・一川瀬市氏(本大路)同 ・一川瀬市氏(本大路)同 ・一川瀬市氏(本大路)同 ・一川瀬市氏(本大路)同 

▲ 相本勝光氏(南洲養山) 本 相本勝光氏(南北農)同 本 語 養 唯氏(建築築)同 本 語 養 唯氏(建築築)同 本 語 養 唯氏(建築築)同 ・ 職四三男氏(滿洲養山)

に関じ十二日夜左の如く發表ス軍司令部は西部戦線の戦況

**進撃を抜けてゐる、十二日** ば同様なるもわが軍は着々

佛軍着々進擊

要急闘している。

▲田中郷太郎氏 (銀行員) 同 ▲加賀氏 (番州鹽菜) 同 ▲阿川的生氏 (千代田生命社 員) 同 ▲加谷礦為氏 (會社員) 同 用的生氏 (千代田生命社) 有氏 (蔣洲鹽業) 同 有氏 (蔣洲鹽業) 同 一种鄭太郎氏 (第一种 ) 同

徳大寺 叔本

尚 村 珠 光 人 水戶光子

#### でを發表、英軍のファイン十二日登國通3 英一フランス著 しきも軍 最近美國内外において美國電フランス到着の報道を正式に確認することを許可されるに至った、但しアランス到着後軍は未だ行動を開始しては居は未だ行動を開始しては居 ▲吉川仁右工門氏(請負衆)同 ▲土方義正氏(會社員)同

重慶政府 【香港十二日登園通】中央通信社報道によれば重慶政府は軍事委員會に依つてそののは軍事委員會に依つてそののは軍事委員會に依つてそののは軍事委員會に依つてそののは軍事委員會に依つてそののは軍事委員會に依つてそののは軍事委員會に依つてもるる。

往来 京

ケン東方地區において 大工業中心地ずしれず のない、佛軍の作職 のない、佛軍の作職 のない、佛軍の作職 のない、佛軍のに観 のない、佛軍のに観 のない。佛軍のに観 のない。伊東のは開

佛軍最高司令部言明

では殊に多大の成功を收め に対する動権を有し、有力な になる動権を有し、有力な になる動権を有し、有力な をが、ジーグフーリド線主 になる動権を有し、有力な をが、ジーグフーリド線主 ッケンを東西南方面より挟っランス関境より催か一哩 フランス関境より催か一哩

物に(哈爾濱セメ

縣、奉節に

場上空に進入し、狂へ を完膚なきまでに爆碎脅心の一つの機の大攻鬱部脈は秋 としてしきりに骨張を急ぎついせ滑走路、秘密格納庫其他の主を動く快晴の空を思いるのた各種施設に巨弾を浴った、即ち側町少佐の率 旋回しつム敵が最近前進嫌黙 還した

領を全部占領

「でルッシャニ自会領通」ドイタ軍量高河命部は十二日東部職は十二日ロデック、デブリン都市は再びドイツの手に歸した都市は再びドイツの手に歸した。 ホーヘンザル を軍部隊は十二日も迅速果敢なる進撃 ルツアその他の各都市を占領した、かくて舊獨領の全撃を續けポズナン及び西プロシア地方においてポーゼ最線の最果につきポーランド内の普遍領全部を占領したと左の如く登奏した

おンいい て敵二機を撃墜した

ルリンを出發、空陸兩軍審勵のため前線に向つたといはれる 報道によればドイツ最高國防會職々長ゲーリング空相は十二日ベ (ベルン十二日發衂通)十二日ペルンに達したD・N・B 通信趾の 船蜒撃状況に難し左

うじて攻撃を免れた皆報告した「日本ンドンに臨港せる四貨物船は何れもドイク港本艦の無拗た当時は受れた。乘組員一同は折柄附近航行中の米國貨物船ステュアート號に扱力された。乘組員一同は折柄附近航行中の米國貨物船ステュアート號に扱力され

区境の備

新しい情勢は、まさに新し を必要とする 支那派遣軍總司令部の創 そこに置く最高スタフの割 年の優化はある 顏創設 熱と が旗を揚げ (P) 初登場 田二田

進を見る。これを見る

宇治茶と世帯道具の \_店 本河 料金¥150セン均-商

日封切 長

の漏

原婦川愛染人口か

数作

坪 桑 野 满美 通

高泛高小

院長駅前 医学博 電(3) 三いいの(受付・三、七七病

(=)

### 協和會 の音頭取 いを作風

## **丁五日から一週間全國的に** 個人家庭生活に重點を置

信名分會に於る實施事項は分 に 清演會等は首都本部に於て具 過案計畫中である

自肅哀

H

滿點

13 (二○) の四人が車で ・ボブラ女給柱子こと矢廊 ・ボブラ女給柱子こと矢廊 ・ボブラ女給柱子こと矢廊

来ることになり、その旅行置 来ることになり、その旅行置 般永方銭萬哉(二六)に頼ん だところ、銭は諸雑費に六十 だところ、銭は諸雑費に六十 だところ、銭は諸雑費に六十

収

証を臨檢中、遊興して たが、十三日午前一時 たが、十三日午前一時 たが、十三日午前一時 大が、十三日午前一時

山野(二八)外六名を三八式 小統七挺、同弾業五百六十五 及、七九式小統一挿、同弾薬 入十五説その他若干の兵器と

ヒアデキ芸を

から多大の讃嘆を博してゐる こと多くその功績は関係方面 でと多くをの功績は関係方面

協和代表出席

特に御諒解を御願致ます

九月十二日

田大會は九月十五日京城で別 他されることになつてゐるが 選別國からは協和青年團各代 表三十一名が選出され協和會

鐵道通學兒童の

設定以来の好成績に終始数育を行つた昨十二日の数有を行った昨十二日の

護り態々全きを思はせた

指導と市民の自覺宜しきを得て哀悼日名に首都響察廳保安科當局が初の精神

運賃全免を斷行

萬

キロ達成記念に

ると部屋中が無茶苦茶に荒さ

信託 社員詐欺

信託社員詐欺

第C三七ンの兩名は會社をバッ 管柳元則(四三)、元領事館 監査部長同社取締係澤崎勝太 巡査部長同社取締係澤崎勝太 御挨 り を御掛け致しまして誠に申譯ありま を御掛け致しまして誠に申譯ありま を御掛け致しまして誠に申譯ありま を御掛け致しまして誠に申譯ありま

タに数件に上る詐欺物盗を働いてゐたことが皆系應司法科いでゐたことが皆系應司法科の手によつて捕殺され一件書 斯京日本機通り三二 の程御願申上ます

マルフ界の最高峰を行き多大 動物からの精鋭州陰をかけられた全 動物のの大学なが示しても を選手の技術が示しても を選手の技術が示しても で表現手の技術が消したれた全 を握った をを要った ををするの をするの をする。 をするの をするの をするの をする。 をす ユア選手大會 日鴻特許久事、用小型、温水準 理炎ナショナル軒

何事能西横 新京媛房商行

格安譲る仲介者並に電話照會御断古手入濟新車同樣一台(客用)

り右中

電話(3)三五七八番 電話(3)三五七八番 電話(3)三五七八番 か話 九店 

月十四日午後四時現町太子堂に水伊り候間生前の辱知いと本月十三日午前零時間生前の辱知

おすの夕刻からあさつてにかけて、國都のうぶすな神。新 京神社の秋季大祭である、時 高裕、所謂お祭り騒ぎを避け 祭典が厳粛班重に執り行はれ る、つまり十四日は寄宮祭で その式次第は、午後正六時、 登進する、是より先手水の懐

文 寮主記串を奉りて拝禮 文 寮主記記を奏す 支 寮主記記を奏す

女給、客と共に十二

は宵宮

さま

日家庭にて實施

日記

自々を開催する、出演者は は毎夕午後六時より、入場 間は毎夕午後六時より、入場 で新望されてゐる、尚開會時 を希望されてゐる、尚開會時 を希望されてゐる、尚開會時 を希望されてゐる、尚開會時 十七日は日清殿野市の大田にあたるので新京海軍部では常日であたるので新京海軍武宮府では常日午前十時から正京有終會員、海友會員等海田念射響會を招き陸軍射撃場では常日では常日午前十時から東京を発言を催し往時を偲ぶ

盲

目秘

本件に軍馬として從軍中ノモ事業間の原名は今次滿崇國施事業間の原名は今次滿崇國施事業間の原名は今次滿崇國施事業間の原名は今次滿崇國施事業間の原名は今次滿崇國施

ででを遂げたので同會社では十一四日午後二時から協和會館で 古田前多議、故古田正武氏の実 福を所る道悼式は司法部主機 育で司法部次長として敷々の 市出前多議、故古田正武氏の実 が業績を獲した故人を敬弔する ため張司法部大臣及び最高、 ため張司法部大臣及び最高、 ため張司法部大臣及び最高、 ため張司法部大臣及び最高、 ため張司法部大臣及び最高、 ため張司法部主機

庫品を調査した結果、瓦斯管 「二百十八本(時價八千圓)が を難に遭つてゐること、退職 する時前借千百圓を支拂つて あることが判明したのでこの あることが判明したのでこの

今城(新京)一アップ長谷川 今城(新京)4 - 3 新田(屋浦)

| 出光(新京)2 | 1 (展演) | 小味(奉天)5 | 3 上山(星浦) | 小味(奉天)5 | 3 上山(星浦) | 小味(奉天)3 | 2 出光(新京) | 小味(奉天) | 1 小味(奉天)

程御順

▲商工公會講演 午後二時より於國防會館 十時より於ママトホテル 時より於ヤマトホテル 前子 一時より於ママトホテル 一時より於ママトホテル ○○住は午前十時英靈安徽
☆る御通夜を濟した護國の英 京輝に到着、特別出入口よりが西陸場社員倶樂部を出後、

<del>興</del> 亚

の英靈凱旋

通じて上兵を激励して來てるいてくれと銃後の堅き護りを つた

受けて乗車、同十時州に緒列する各圏代表の

右事實を知つた官長一同は有く同情し、團長並に官長病く同情し、團長並に官長をあったのであった。

南上兵繞る銃後美談

我子激勵

南上兵の父が最近途に盲目に一せず御國のためにしつかり働めつた薄長高辺山氏によつて 三人共達者だ、家の事は心配めつたが、偶々通信機関に立 なつたにも拘はらず自分達は

一子さん家出 十一 北安路七一六大谷正子へ 北安路七一六大谷正子へ 北安路七一六大谷正子へ 出したま、夜になっても ないので心配した母親ョ さんは同夜響護騒斬京興 さんは同夜響護騒斬京興 斯管を盗む?

新京學童體操大會

世日 兒玉

〇〇時兵第〇國第二連輪兵上 「大南恩祥君は昨年秋以来の東 長南恩祥君は昨年秋以来の東 長南恩祥君は昨年秋以来の東 養道討伐にも出動して常に斥 後その他重要勤務に服し、よ くその任務を果して縁内の検 が判明、その忠誠の提は、、よ官 の変と子供の世話片手に慣 が発展をしてあるがこの程側 の変と子供の世話片手に慣 世事をして幸らじて樹口を

である、主なる要項大の如 二回新京學室體操動技大會は 九月廿三日午後一時卅分より 見玉公園競技場(頭天の場合 は新京商業學校)においで學

新一大地。 野悪な神経を 大地の率るる証例三十餘名は、 長春縣双城堡警察署管内費泉 村劉家屯を襲ひ食糧を張等したので 長春縣要務科劉書尉以下七十 五名の討伐殿が目下一事に距 国を覆渡すべく急追中である。

生なる放送

技師へ

宮本武六氏の案天鵬教管理局 宮本武六氏の案天鵬教管理局 京帝大英法科卒梁同年高等 文官試験行政科をバスした秀 文官試験行政科をバスした秀 文官試験行政科をバスした秀 文官試験行政科をバスした秀 文官式像であること

本七・三〇國民歌語「滿州李 「東京」高田保護へ入・三〇 野口米大郎外へ入・三〇特経 「東京」高田保護へ入・三〇特経 「東京」高田保護へ入・三〇特経 「東京」高田保護へ入・三〇特経 「東京」高田保護へ入・三〇特経 「東京」高田保護へ入・三〇特経 「東京」高田保護へ入・三〇特経

九月 日

告

期する為め九月十五日限り掛賣扱を廢止、 ました就きましては今後事務の簡捷を圖り 商事株式會社の御方針に依り新組織 御取引願ふ事に致しました御不便の點も有之事と存じま 新聞紙上を以て御挨拶申上ました通り の當組合を結成致し 配給の圓滑を 總て現金にて 今般日滿

新京石炭販賣 電話③ 二五八

新宝の方は至急御來談下さい 素人仕立屋募集 吳服店

問御下命は十四日正午迄にお願ひ致しま 赤飯は是 玉屋菓子店へ

會職代 松田盆太郎 與嚴格代高 野 肇 大人總代 杉 尾 正 一 大人總代 杉 尾 正 一 新京東三熊通り三十六番地 一 本 一 工 一 一 本 一 工 一



「山と聞ふ」

有田サーカス

有田サ

カス

**建上大切に御取扱ひ** の電氣器具は養材愛

十一日より開演中

十一日より開演中

二等一週四十銭を八十銭に!

利京日日新

尽日日新

讀者優待割引券

讀者優待割引券

**页實文化映畵** 

のだがマ哈瀬濱の日本人カラのだがマ哈瀬濱は少し北瀬を廻つて来たのだがマ哈瀬濱の日本人カラット・ディスが宣しくないといかすーディスが宣しくないといいな事であった。それは馴染の者に對しての資格を持つにはあらうが、観光都市としての資格を持つにはさうした方面の訓練も要るだらう

夫人」 配役決定

大江たか子の主演新作品は森
リボンを結ぶ夫人」で山本産
実演出のもとに著々準備中で
あるが此の程配役が左の如く
次定した、北海道の大自然美
を背景に美貌な若き人妻百濶
なさ子を中心にした維軍薬産

日来派十一日より離宮ラ日来派十一日より離宮ラ

(一町東永) 街ヤイタ

ロケ

高錦放送局開局

放送聽取者慰問の為 演藝團を派遣

推薦されたのは、文部省の襲 術映畵に對する理解を物語る ものであるが歐州藝術映畵で は先きに「巴里祭」「にんじ ん」「ドンキホーテ」「別れ の曲」が推薦され何れも大賞 りを取つてゐるので東和商事 では「ブルグ劇場」の推薦を 幸先よしと張り切つてゐるの

一方芸・神聖里」、デルーカラ・神聖を巡回公演することになれ、延吉、劉門、牡丹江、た、公演する土地は撫順、水、延吉、劉門、牡丹江、水、延吉、劉門、牡丹江、水、延吉、劉門、松子江、水、延吉、劉門、松子江、次 錦脈、景徳、營口、綾山十七ケ所で奉派大鼓、双 文平独詞など辨洲芝居の十八ともいふべきものを公開放ともいふべきものを公開放ともいふべきものを公開放ともいふべきものを公開放ともいふべきものを公開放ともいふべきものを公開放ともいふべきものを公開放としてある。

**③**電業御茶內 1,53 4,57 8,00

11,40 12,25

力質ぬら劣もとる優にツタンエ・丸捨 る当 演開時六後午 ガル盤の弗箱 浸オ浸香浸歌 オーオ曲オ ル 大 土日 3 大土日大菊

社会はよう に秋初が畵映寶東 黨巨春青る贈

立 H ほる。徳川

さらずり交錯する 主演

十錢 原演 都 作出 阿山 丰 部本質 知薩連

二夫

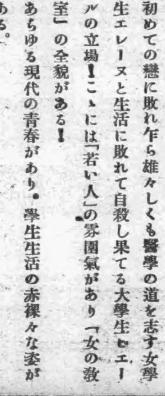


!ぐ捧に氏諸リテンイき若と君諸生學女男の代現を畵映のこ

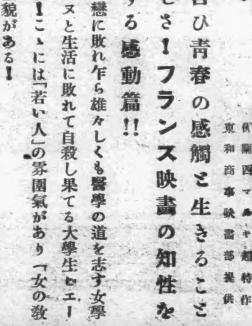
HELENE

作心良の匠名の「手の母」く描を惱苦のリテンイで春青の代現 ほ 作原史女ムヴバ・キツイヴ 0 代

生エレー 初めて ルの立場!こ



ある。











文潤 達秀具智 政



++ 四三 8

H

間

(6限に様名百五星進品組) 念記年周三満店開

日











B

聞

京

通り
一、東部戦線より既に八乃至
一、東部戦線より既に八乃至
た外なほ機械化部隊の西部
に西部要塞第一區の住民に
医西部要塞第一區の住民に
を方退去を命じた、その距

は内と傳へられるが、更に最近第三區の住民に對して 最近第三區の住民に對して も後方退去を準備せしめつ いドイツの電大学で西部要 態はなほ最優の防生げを必 要とするもので疑火管制の 下に晝夜業行で完成を急い 下に雹を業行で完成を急い

る兵はに、きにに知る 東日本に期へ な五立に期へ は五立に期へ

路重點西部

り、同方面目下の職況は左のれ地方に主力を集中しつゝあ

國境の兵力刻々

れた模様で砲撃は殷々として峡谷一帯を壓してゐるといはれるード、マジノ兩要塞線に挟まれたモーゼル峡谷東部において獨佛兩軍間に一大砲撃戦が開始、パーゼル十二日發國通〕十二日午前パーゼルに達した情報によれば十一日夜に至りジーグフ

### A A

**教**行新 印葡發 剔解行 人人人

之 〇三間 介養忠 〇五社

四日

國境緊張す

のを知つて積々が東方への退路が東方への退路が東方への退路が

二日ル

はいが、移轉するす。 はいが、移轉する官吏の数 るとはいが、移轉する官吏の数 のまた何處に移轉するか ではいが、移轉する官吏の数 の職派上十三日下院においては何等明示せられて 領袖何れも政府に協力してる は一般的討議は行はれぬもの は一般的討議は行はれぬもの と見られる と見られる

大蘭 帆船沈没 大瀬 帆船沈没 大瀬 帆船 かっているが、フィンランを極めてあるが、フィンランを極めてあるが、フィンランを極めてあるが、フィンランを極めてあるが、フィンランを極めてあるが、フィンランを極めてあるが、フィンランを極めてあるが、フィンランを極めてあるが、フィンランを極めてあるが、フィンランを極めてあるが、フィンランを極めてあるが、フィンランを使った。

電信電話株式會社

商工會議所會頭 高工會議所會頭 高工會議所會頭 高工會議所會頭工會議所及東京 高工會議所會頭工會議所及東京 高工會議所會頭工會議所及東京 一日夜理事の留任を條件とし で行ふ日本商工會議所及東京 で行る日本商工會議所及東京 で行る日本商工會議所及東京 で行る日本商工會議所及東京

正大年發迪

本様藤貞氏(東大門教授)十三日來京ヤマトホテル 本藤野三一氏(東大門教授)十三日來京ヤマトホテル 本藤野三一氏(東大門教授)十三日來京ヤマトホテル 東京晉頭で非常時 同である▼今末関係の個個を 見ても過去に於てどれだけの ことをなし得たかを思ふとき である▼明治維新が断行されだけの を中れる仕事は以つて難局を切 が採用されこれによつて初め人で を中れる仕事は以つて難局を切 のにはその前に在野の遺賢浪人 にはその前に在野の遺賢浪人 である▼の が採用されたれたよつて初め

手を擧げて賛成

十二日

ルソリの市街戦

観戦記を掲載した要賞左の通ア紙は同紙従軍記者マリオ・

き戦車線を撮つた、武装しき戦車線を撮つた、対象したがあるボーランド人の 質傷者多数を出した線機で も因方に燃えひるボーランド人の も四方に燃えひるがつたが も四方に燃えひるがつたが

要は實

洲國側 は由々しき一 なる者板の政権 である者板の政権 である者板の政権 である者板の政権 である者板の政権 である者板の政権 である者板の政権 である者板の政権 である者板の政権 である者板の政権

とし糊鬱れこし諸詞計通れを國 打て緩策がと適制の畫ずに鑑力 用は的をたを切度弧のる對つを

部國境を護る高射

特選波 虎造の森の石松

合委員會注目さる

任首都指導部次長兼指導科任首都指導部次長兼指導科長

袋印度

約三百の匪

信用回復

國新政權樹立問題

關東軍司令

職房百廿、鹵獲兵器=小統廿 で約三百の敵匪を包園攻撃し これに全滅的打撃を興へた。

天野子

入院在診時意

柳間之的 柳間之的

電話(2)一六九三

++ 四三 日 日

二日

間

鎖は至難対

成·完 場

業



(り限に標名百五呈進品組) 念記年周三満店開

# ゲ・ペ・ウ凝視する

國境を征く赤十字 講赤施療班に随伴して

和 會 問

十分に政治に反映する様に ならなければなりません。 人民の意思を政治に反映せ しめることを民意暢達又は 下憲上遠と云ひます。又人 民が政府の方針を知らず。 之を誤解して疑惑を持つた り反感を抱いたりしない機 を實行するに際しては人民 が之に協力する様にしなければなりません。之を上意 下達と云ひます。上意下達

神に依る政治は實際上どんな風にやつて居りますが、協和精 神に依る政治は實際上どんな風にやつて居りますが はは、政府の役人は先づ何 には、政府の役人は先づ何 とりも光に人民の心持を知 り盡し、人民の幸福になる 様な政治を行ふことが肝要 です。その為には人民は官 に對し思つてゐることを です。その為には人民は官 に對し思つてゐることが肝要 です。その為には人民は官 に對し思つてゐることが肝要 です。その為には人民は官

はは、よって政治を行って 物かなければなりません。 現園には議會がないから、 人民は政治に参展出来ない と考へる人があるかも知れ ませんが、之は大へんな誤解です。人民は協和會員と 解です。人民は協和會員と なることによって政治に参 異出来るのです。つまり日 常起るところの政治問題に 付て常見と判断とを協和會 に持込み官民の懇談によっ で之を解決し、官は官たる 立場に於て民は民たる立場 には、どうしても協和會組には、どうしても関政を全うする

市聯合協議會、省聯合協議會です。聯合協議會には縣族自然に最も重要な役割をつとめるのは聯合協議會には縣族自然。 ふと云ふ様なわけです、宣鞭を演奏では北の決を決議する。官吏は此の決 べきものなのです。そして神會活動によって解決さる一般の政治問題は日常の協一般の政治問題は日常の協

一、宣徳遂情を徹底し

方に協和精神に依る政治の中るのです。此の協議の仕やるのです。此の協議の仕

### 全聯上程に決した 議案の提出

第三部(國民動員の完成

なり なり なり なり たるは實に感謝に堪へざる所なり たるは實に感謝に堪へざる所 然も之の間數次に亘る大討 使及日常の討伐に際し現地 良民が軍夫軍役として參數 使民が軍夫軍役として參數 使民が軍夫軍役として參數 で記言時の意を禁じ得ざる るに同情の念を禁じ得ざる るに同情の念を禁じ得ざる るに言をかる。 るに言をかる。 のあり るに言をの要素にして輜重は當 のが動は其の大小如何に不 るは言を使たず、更に軍警 るは言を使たす、更に軍警

海國家的行動にして之が負 集せば全國民に於て均分せらるべきも亦自明の理なりきるべきも亦自明の理な所 なの選化を計り更に、 一、例を聖でれば可及的速かに現地住民 に依る背給鉴別を別するため輜重 家の頭化を計り更に王道園 家の現化を計り更に王道園 を所入年頃園軍の討伐開始以來 各衛村より背給臺州するため輜重 は無松は 大る統計なきも之を若し一 の各村は詳細 の人民は毎年的 の人民は毎年的 の人民は毎年的

四 三 軍 放 こ 一 三 で と し と し た 対 と な 学 各 せ し 歌 闕 度 背 辨 十

本年度全際議案第二次整理委員並に幹事會に於ける第三部 (國民動員の完成=動員、治 安、通信及交通關係、) 議案 中上程と決定した議案の提出 理由は次の如くである 一、協和義勇率公除の活動に 顕する件 本の 本の 本の を関する。 を

不断の努力により現在治安 も心を致せる所にして其の も心を致せる所にして其の を取せる所にして其の

# 大經區に協和俱樂部

十月中旬結成式

昨日の準備委員會で決定

制 協和會首都本部では創設以來 ・ 協和俱樂部々の設立を提唱 ・ 動を持續その實現に邁進し ・ に首都本部にこれが ・ に首都本部にこれが

考慮し分會工作に必要なる と (3) 地理的経済的諸件を 要なる基礎調査 で (3) 地理的経済的諸件を で (3) 地理的経済的諸件を を (3) 地理的経済的諸件を

勝行条票く土實の百國前院書資本 ※地ただな地狀實際の十拓藻、省村 のがといがを地は途一地洲沿よ

視察團歸國

牡丹江にも 日滿兩文新聞

東安省本部の (4) 開拓地域においては 會運動の推進力たらしむべき會階神の鼓吹、宣傳を通 じ分會結成への機運籐成に でつうをの方法としては目下 長業期なるにつき中食時間 あるを利用し屯巓を中心と して座装盤、個人説得講演 書等の方法をとる 合いのある。のも宣傳の ため映畵班を構成しこれに 本年度特別工作實施決定

上の損失となる 新鲜果實 多少共御用命下言 堂食 電話③六三二六番 植果實店 祝西南 THE OWNER. 四三3雷 涌条二東 電③三一二八番 本橋通り (前泉昌津草) 路径大 O五一六③電 町野吉 八三四六②電 ルビ上海 Morrow 六二一②信電

一回齒科醫學會

六十五氏から貴重な研究發表

日新京で

#### 着る前に藏ふ前に 洋服は手入が 夏物をしまふ時季です!

てをらないので、アイロンをかりすをのばす程度しか考へいて各本人は折目をつけると準服にアイロンをかけるにつ

紫外線を追うて

郊外へ出ませう

歩くここが一番の健康法

紫外線が最も安い美肌法

するとがなにより大事です、それに荒てゐるまに常に手のものでもありませんが、信用のあるクリーニングへ出ませんから、したがつて季節向の手入れといつても特別洋脈は和服とちがつて、季節がそれほどはつきりしてゐ とけるやうになつてるます、 につゝみ袖山のところに入れるれに簀てるるまに常に手 んな折目がつくとなほりませ

形のうへからは袖にたゝみ目

でしまふ方がよいのです。 ものを同一に取扱はれてい 生地や色のかはつた 別々にし はとり

ひきだしに重ねないで紙の袋 をかけて押入等へつるす方が よいのです洋服ダンスのない ときは普通のタンスのひきだ しにすのこの段をつけて利用 するのもよいでせら、生地が のびてゐたり穴やほころびを そのまゝにしておかないです 着てゐたときの形にしてかけ様にアイロンをかけるときは あるやうです。たいはずしためてしまふことがしばくに なければくづれてしまひます しまふときはできれは行李や

に應じて異りますから、 です、歩幅も速度も體格 です、歩幅も速度も體格

はいものです、秋の陽………し ざしが馬鹿にならないほど多 だしが馬鹿にならないほど多

う、だつて都會 り大きな摩で歌い り大きな摩で歌

から思ひつ切

では、日本人は大陸一分ませんが、日本人は大陸一分に七十米ないし八十米を歩行を置育に用ひる場合は一人がくより二人、三人と連れ立歩くより二人、三人と連れ立歩くより二人、三人と連れ立 一緒に歩く

夜 ※ ( 室天) 演

は軍の成勢を整へるため、季四、 は軍の成勢を整へるため、季四、 に一番い」のは實はロハの紫で、たにやも出來を筈です、歩くといふこと のは で・ で健康と美容のために一くさい。 たい、の近頃いろく、なスポーツがで、たことだの自由歩行、軍職歩行、の場別ともつて被を描いて、のは質はロハの紫を占めてみるわけです、表色、からのので、エネルギーは自常にあるがで、に一番い」のは質はロハの紫で上で、大きを出來を筈です、家庭の主婦と、外線が一番い」のは質はロハの紫で上で、大きを出來を筈です、家庭の主婦と、外線が一番い」のです。そこでは自由歩行、軍職歩行、事合能率が悪くなるのは自田歩き、のと近になりましたが、健康のためです、たころになると、「日二里以上歩いている運動にも自然にリズムがいるが、のでです。そこでは自由歩行、軍職歩行、事合能率が悪くなるのは自田歩き、の近頃いろく、なスポーツが、で健康を美容のために一くさいのでです。なって、大き多くの日本人的では、本のは質いろくなスポーツがで、たころになりましたが、健康のです、なると、「日二里以上歩いている運動にも自然にリズムがいます。このは自田歩き、のかないのは自田歩き、即ち自然の歩方が、このようによりに対して、後の日本人的です。ないり近頃いろくなるのは自田歩くはないやうで、このようによりには、大きので、からに盛んになりましたが、といると、「一番い」のは質となるのは自田歩く、を一番では、「一番い」のは質を整くの日本人的で、一番によりには、大きを表している。「一番により、」」とは、「一番により、「一番により、「一番により、」」とは、「一番により、「一番により、」」とは、「一番により、「一番により、」」とは、「一番により、「一番により、「一番により、」」とは、「一番により、「一番により、」」とは、「一番により、「一番により、」」とは、「一番により、「一番により、」」とは、「一番により、」」とは、「一番により、「一番により、」」とは、「一番により、」」とは、「一番により、」」とは、「一番により、」」と、「一番により、」」と、「一番では、」」と、「一番では、」」と、「一番では、」」と、「一番では、」」と、「一番では、」」と、「一番では、」」と、「一番では、」」と、「一番では、」」と、「一番では、」」と、「一番では、」」と、「一番により、」」と、「一番では、、」は、、、、、、、、、、、、、 かな並木の道などを選んで、 四、五人で步調を合せ、軍歌・ 常に歩行を體育的にします、 目本ではまだからいる風景は 総ですがドイクでは青年が歩 く時は必ず民驚がつきもので でましい習慣の一つだと思ひ も出來るわけで、市内でも鬱結構です、歩くことはどこで

即ち音樂に

よつて歩行といふ作業にリズ 大を興へるわけでそれだけ歩 行の調子は整へられて體育上 が果をもたらすわけです、い がれにしても歩行は最も手輕

に一番い」のは實はロハの紫 かり近頃いろくなスポークが、健康のために一くさ からになりましたが、健康の ためには軍に『歩く』ことだ が

大、二〇(東京)ニュース 株 人港船のお知らせ 六、黒國陸操 講座 大、三〇(大連)

修養の倫理 を と 国太郎 中等满洲語

失败正吾 加藤 三島 昌平 斯福田 繁 新

郷の實験的の

番組 四新山田市。

六、二〇(東京)コドモの新聞 六、二〇(東京)コドモの新聞 七、〇〇(東・新) (新京)告知事項 香組 七、〇〇(東京)時 一、三〇(東京)時 一、三〇(東京)時 一〇、三〇(新京)今日の二八、三九(東京)時報。ニュース、告知率(新京)ニュース、告知率(新京)ニュース、告知率(大阪)等報。 時間(霧語) 北浦の 東・今晩

お子様向き

にん醤油につ

加へて味加減 く切り、三 九、三五 (祭京) 九、三五 (祭京) 九、三〇 (東京) (東京) たい 〇五(泰天)

ツ鶏卵

ないと細切ないと細切 朝の音樂

話の時間 企工記者・映書班 六氏 關東軍司令部 世界戦史空前の大量敵機撃墜 中島欽三少佐外 を教ふ不時音樂や、よく終えるがかりなど中戦の有機や、爆撃 野はようなるか。疾歯腫悪経・海軍・心佐・記・の生生には、大ななか。疾歯腫悪経・海軍・心佐・記・のとなった。 近代戰率時十十年人 (排物) 野村胡堂 小說)長田幹彦 小現記代 連載長篇小說 一円羽交雄 らざる處世道。佐 り問答 坊(贈川口松太 (機)山岡 莊 た記る本科 政治 (嬌) ▼珍名物 河風

新京での開會は最初ではあり ・ 大学権が5米會する者三百名以 ・ 大学権を責長重浦博士の報告 ・ 大学権を責長重浦博士の報告 ・ 大学権を責長重浦博士の報告 ・ 大学権を高る」と題する特別講 ・ 中食後一時半から大阪帝 ・ 中食後一時半から大阪帝 ・ 中食後一時半から大阪帝 ・ 中食後一時半から大阪帝 ・ 中食後一時半から大阪帝 能のが日腔

一七、「オロチョン」族の口腔検査報告 を検査報告 他では、新京學童口腔診査より 見たる鴻洲生れ日人學童の 製食罹患率に就て(抄錄) 今西喜一(新京鴻線) 一九、安東日本人兒童の永久 強齲蝕に闘する統計的観察 (沙錄)

イベル・オス京県距離材ン

運(新京保健所)

る智識周凱姿の

五九、接觸點 一五九、接觸點 一個復に就 一個復に就 一個複形。 恒夫(奉天滿大)

| 大連機院

立立、淡人及

に

4

る者

「組頭つ」

(五)

日番八直で正面の戸を開けて入る、

人の小娘を私の所に探しにんなに多人数で、たつたーんなに多人数で、たつたー

の追

求

來た

(戸の外に向ひ) あんた 登早く入つていらつしやい あんた達誰を探してるの ? あんた達誰を探してるの ? かの男甲(黒い服を着てる る、黒い帽子を被つてゐる 、 様に随ふ部下にしてゐる、後に随ふ部下にしてゐる、後に随ふ部下にしてゐる、後に随ふ部下にしてゐる、後に随ふ部下にしてゐる、後に随ふ部下に

高みませんね、私は知り たの知つてるのでせら。 たの知つてるのでせら。

男

意世

社が競

(主)

男(甲) 〈笑つて〉まどうか怒らんで下さい、あんたはどうも怒りつぼいらしいはどうも怒りつばいらしい連の所から一人子娘が逃げ出したのだが、でその子を探した死だのだ何處かにきつといれてるんだ、あとでひかくれてるんだ、あとでひ

謀

戶

したいってあった。 であつた。 であつた。 であつた。 であつた。 であつた。 であつた。 であつた。 であつた。 であった。 後は可愛いい一人の娘を持つてからの四五年間は、娘のつてからの四五年間は、娘のつてからの四五年間は、娘のしかしその娘は、母親の血としかしその娘は、母親の血としかしその娘は、母親の血としかできが悪く、とうとうとうで仕舞つた。関けたのではあった。とうとう

山事場で奄を擔くことに 男、かの勢働者は涼吉と は立派な働き人となり元氣をもとに取り

この作家の近来の精進撮りには、大いに注目すべきものがある。
この作家の近来の精進撮りには、大いに注目すべきもの制像を寄削するといふ風な出世をする。別は苦學の未外交盲になつたが、仕事の無空義なのを感じて後には繪特を得、かへつて藝術家としては惱んである。別は苦學の末名響を得、かへつて藝術家としては惱んである。二人に名響を得、かへつて藝術家としては惱んである。二人に名響を得、かへつて藝術家としては惱んである。二人に名響を得、かへつて藝術家としては惱んである。二人に名響を得、かへつて藝術家としては惱んである。二人に名響を得、かへつて藝術家としては惱んである。二人に名響を得、かへつて藝術家としては惱んである。二人に出来ない。

大日本雄辯會講談社

談俱樂部等

はしい 強しい 強に続けた黒い葉の だしたばつかしの 

英安大路上は へるかと

「出世讚」 九月號)

に現

つ代 いの て出

機者、といっても四十の坂を のみであり放蕩者であるその あた・阿片のみに富然あたへ らるべき天間が、潔吉の家に厄介になつて かるた・阿片のみに富然あたへ らるべき天間が、潔吉の家に厄介になつて のなであり放蕩者であるその をあったが、解水する四月の中 ためで港石に逃げよりかれた ためで港石に逃げよりかれた たので珠を覚えてからといふも のは、終には自分の骨の體ま でしゃぶつて皮だけを残すとある。 をあれて建に同片を吸びだした をあったが、料理した肉 でしゃぶつてみたが、料理した肉 でしゃができたいふものの味 をあったが、悪い仲間の日車にのせたが、悪い仲間の日車にのせたが、悪い仲間の日車にのせたができた。 をあれて建に同片を吸びだした。 をおったがは自分の骨の體またの。 を表ったが、といふものの味 をあったが、悪い仲間の日車にのせたが、悪い仲間の日車にのせたが、悪い仲間の日車にのせた。 を表ったが、悪い仲間の日車にのせたが、 を表には自分の骨の體また。 を表ったが、といふものの味をできた。 を表ったが、といるもの。 を表ったが、料理した肉 を表ったができた。 を表ったができた。 を表ったが、料理した肉 を表ったができた。 を表ったができた。 を表ったが、といるものの味 を表ったができた。 を表ったが、といるもの。 を表ったができた。 を表ったが、といるもの。 を表ったができた。 を表ったが、といるもの。 を表には自分の骨の體また。 を発すと、 を発すと、 を発する。 も四十の坂を のにも大部かかりあひがあつ 憔悴と悲哀を忘れようとした

中 後は、源吉の話相手となって に は かかった。 時折、源吉の話相手となって を 後は阿片を働ってきてからは 子供のやうに腹が空いてきてからは 子供のやうに腹が空いてきてからは 一 で で 放してくんねえよ。 っった。 人間は元来が悪力で たよ、激してくんねえよ。 っった。 人間は元来が悪人では ない。 困つた何かの事情にぶ のだ。 源吉はから想まるのであ った。 後は案外に正直者で、 譲っや には、源吉はなれなかった。 後 他せる男ではない。 物愧にな を 見出した自分の方が悪かった。 には、源吉はから思ふと、後 を もしたしてはない。 物愧にな かった。 後のや を してはない。 物愧にな のた。 源吉はから思ふと、 後 を もしたしなれなかった。 のだ。 源吉はから思ふと、 のた。 源吉はなれなかった。 のた。 源吉はなれなかった。 のた。 のだ。 源吉はなれるとはなれなかった。 ではない。 のた。 のだ。 源吉はなれるのであ のた。 のだ。 源吉はなれるかった。 のた。 のた。 のだ。 ので のだ。 のだ。 のだ。 のだ。 のだ。 のだ。 のだ。 のだ。 ので のた。 のた 彼は活氣のある順色をみせ

(日曜宋)

電点の頭をはねるやうな了見の胸ではなるやうな了見の胸をはねるやうな了見の胸ではなるやうな了見の胸ではなったが、 延犬が吠附くやうに寒い離をだしてしまつ…たではなかったが、 を そんなつもりで言ったんとぶっまりさ、あの仕様もねとびできないい人間にさせてやる指している。

の勞働者は、「さうだ。然られを默つて聴いでゐた數十人と、大騰に喋りだした。そ 「精洲は俺達の力を無護して を、補足の遠火をもげるのと、補足の遠火をもげるの で、俺達

に は から とも、 他 達を左右 に いはうとも、 他 達を左右 に らる人間は 三浦さん 早一人 だ。 諸君! 今日から 他 達に だ。 諸君! 今日から 他 達に ごしらへるん かれ 自 から に で 、 で ま から に で 、 で ま から に で 、 で ま から に で よ に こ し ら へるん だ 。 」

を戻かせる工事場の労働者達 を戻かせる工事場の労働者達 た。のかたまりの中に胡坐をかい うに思はれた。 者架

7仲間の組合長だよ。



**準者になつて貰へていつた譯** 

でいた気臓者の親方になるつ 

本務別評論(九月二日) 「通文を特録してゐる、な に小山貞知「支那事變の現 段階」がある(大連、滿別 評論社、十五銭)



れにあんたは御存知な れにあんたは御存知な にも出来ないわ。 のでなんの ことだい

男.

雷

男 そりやり のか知れ どうにもい

西谷正夫 終の井線にからむことなし 禁かなる處女の後笑に 不寝の珠のよみがへりくる がしき太陽さながら 接爛と花開き訪れくる 壮麗なる夜天の祝祭に 社麗なる夜天の祝祭に 一 長へる賃缸の衣の肉の恐怖 タベには懶々と快業に輝き 動黒き線衣の上に伏せ 動黒をなる嗟嘆に 眞理

で来い提し出せ。) つて来い提し出せ。) って来い提し出せ。) お待ち、みな入って来るつて ?誰がみな入って来いつて でったの ? あんた達何を食いたちわけも別らんのならたっちわけも別らんのなら

輝かしきは**失色の塔か** 無限の創造に**妻きるなき** 無限の創造に**妻きるなき** 

造数を共 るの旧線に 名がに 説

國境線に探る

諜報

たり あらけなき沈默の血汐に沸る を美たる障礙の和みよ 炎々と都を続く群胃の測量よ あるは蒼くあるは赤く 整済の上に組立てる岩礁のご と と と と 変はしき花の群落

ちに、又いらしたと 明 又いらした? (間、彼女の嘘を見抜き) おやあわしなくちやならん。 (最の底なくちなならん。 (最の底なくちゃならん。) だ、さらだ、會はた らした?(間、彼女又いらしたんだわ。 なくちやさら

男 冗談言つちやいかん、わし達或ひは一家の人間かもし達或ひは一家の人間かもなれないであんたも手傳つてほしいのだ、どうもあんたを全人爺の友達なの? 男 (美つて)友達とは言へまぜんがね、いつもあの且那のために仕事をしてるんでさ。 ばさつき仰言つたわ、早くおんた達を追ひ出せつて! た 解償してくれる い物でも 整つてるた のね、 ぢあその子が

ら出て行かれるのをお送り

女性

男(用) 馬鹿、 来いと言つた、 で行け。

男

譯

男

のた?出て行け! のた?出て行け! でもないよ!

麗

されです

面白いいの に捧げ 最愛の一般の 名作! 女性が 噫!尊 涙こそ きかを暗示した て如何に生くべ 「母の 銃後を護るは た薄倖な 人を御國 き哉母の道! 此の一篇につきる。 によ强くあれり 征兵士交送歌作曲募集 征兵士を送る歌當選發表 の親心、老父の熟き愛に泪! 清正の姫

藤尾 黑白 行(道」は 見よ! 母とし 只これ 定價七十錢學(熊斯恩》 女性の崇高な 加藤武雄 長篇愛國小 要を描いた程 **菊池** 

時局早わかり

國の敵性◇建設工作はい。進んだか◇刺身一人戦◇決死隊に参加◇川へ落込んだA君◇新 新聞は、通信社の 新聞は、通信社の A STATE OF THE PARTY OF THE PAR

**推案持方不** 於與智惠此人 い発表は ▲詰將棋五題 織を削る様々質々戦展開 木村義雄

將棋谷喜久雄 莊八 山岡

歌に身を発じ、〇〇総部沿線 で変大、名に電大楽報を探るー に変大、名に電大楽報を探るー にした戦事物語。木村教作的被小松中財が、日際戦の裏面に活 堀温温 ◎貞婦お石 春风事内

男も女も、生れ出づる子も、みんな、男も女も、生れ出づる子も、みんな、りて世流に、受しの民だ! 見よー 大君にして世流に 受しの民だ! 見よー 大君にして世流に 受しの民だ! 見よー 大君に 武遣用 と名と併せ得たり剣の響れ 心記。周五郎 小笠原 長生

小說美 女 櫻大佛次郎 終のお美ち ST AND THE STREET 長屋會談

▲小説出をならぬ経じ 美女の仇討 竹田敏彦

訊

向位体

强



前停電町本仁大區川淀西市阪大

村

香五八五五鳥扇話電

大阪市西區薩摩堀東之町一と大阪市西區薩摩堀東之町一と

種

商 店

#### 品業營

器工人器金具物具物具物

大黑印發賣元 卸

四一長 一 一 二 二 二 五 番番番

電話船場

振電工

替信用

話機櫻

萬

年

大阪市東區博勞町四丁目

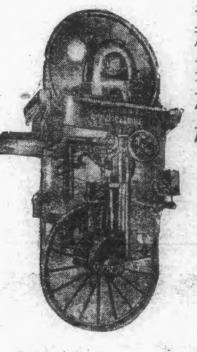
斯界に定評ある 針金直線 自動切斷機 の新 紹製 山工業所製

(日 曜 米)

專門製作販賣

市立縣路院眼科縣院眼科縣院

竹治 大阪西局私書函第十三號 郎商店



各種製材機 (カタログ送品)

テービン深井戸ボンブ

加斯

力体きめきめ

ルメラヤキ。『永森

TWF-5



■ 100 | 長一七九五番





うなぎ









同あるに極みこれ等取 等を衛の興太者化せしめるもの (国) (国)

のであるのみならず王道樂土の育都としての品位を胃質した。 を形成する素地ともなるもので時局柄徹底的に粛正今後かれる場合に於ては營業停止の 動手たる處分を以て望み、直 した上げ 慢情なく 臨分することとに上げ したった

お客をぶん殴る

新京會館ではこれ

が常習?

つた暴行沙汰

理、刺繍、造花等の講習を時濃洲中央銀行の奥さん途は料

飛行機献金

中銀の奥さん達

都市對抗角道

船の所屬及び薬組員氏

際運動場常設相撲場に於一十七日午前十時より率の十七日午前十時より率の全溝部市對抗角道大會

席の上行はれる

営業停止の嚴罰方針

へ太者か用心棒か

歡樂街不良從業員に鐵槌



# 満鐵宿会荒し捕る

これを皇軍飛行機製作の用途 東軍副官部へ出頭献金を申出 た、當局も其奇特な志に對し た、當局も其奇特な志に對し

シスコに到常後直ちに待ち襦 地より我が南洋定期飛行機に 田本航空監査役森村勇及び同 に今度は南洋拓植汽船南拓丸 へ乗輌三郎兩氏はサンフラン に依つてサイバン島に至り同 に今度は南洋拓植汽船南拓丸 つに は 一機に乗り移つて太平洋に飛 宮 上 東京戦通 日米超特急聯絡 へてゐたチャイナ・クリツバ 司 東京戦通 日米超特急聯絡

高んで受理することになったーン

**警備兵、突如** 

五十軒の講天商が居並ぶが、 有別の神社秋季大祭は今十四日 は従來同祭禮には境内へ四、 は従來同祭禮には境内へ四、 今年か

露

今年より同葉に於てこれを行 大のうちでも顔の通つたもの が世話皮に當つてゐたが。種 今年より同葉に於てこれを行 警察で場所割當て

こととなり動演に解すてところ十三日午後水樂町 長野縣各郡著草が この世話後を買って出で、二の世話後を買って出で、二の世話後を買って出で、一行後七時五十二分着列車で所を片川保安保負立會の下は一行を迎へ十二分着列車でから日海、人會主任中後で、一十三名も同日同時に来京、新京長野縣人がその方は日程の第合上がその方は日程の第合上がその方は日程の第合上がその方は日程の第合上がその方は日程の第合上がその方は日程の第合上がその方は日程の第合上がその方は日程の第合上がその方は日程の第合上がその方は日程の第一十五十三名も同日に東京、新京長野縣人間では、1000年間では、100

用

\*\*六日連絡

お

京

を日京

森村、久森兩氏快記錄

玉屋菓子店へ

始めました、是非御試し下さい

赤飯は是非

當店自慢の

御食事用

帆船を射撃

出共乘組滿人拉致

中込都市は左の如く十二都市で、この外二、三の申込みがある筈 「京、閉原、撫順、本溪湖、 東天、大連、吉林、四平街 安東、大連、吉林、四平街 紀元二子六百年の本戦記念宮崎縣八紘の基

1 100

制造・午養十時

億

貯蓄

り貯蓄會組織

自萬

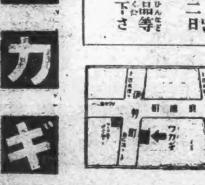
圓

女優の説縁願ひ

会に関った場句哈爾濱、齊々 一角一ス修理工王 るることがわかり、かくと訴の影論方を頼ひ出 へ出たものである。同署で早 一角一ス修理工王 るることがわかり、かくと訴の影論方を頼ひ出 へ出たものである。同署で早 これが下り三 といふ口渡で金局を襲撃して である元市内東三 といふ口渡で金局を襲撃して である元市内東三 といふ口渡で金局を襲撃して

品雑の貨





化服

面會日 九月十至急履歷書携帶本

社豊樂

**酒五色蘭**釀造元

神用は光道 西村洋行小曹 グイヤ街電のかのな

ハン展参

盜警戒

は立廻りとなつたのでボーイ等は易奮の福ラストタイイ等は易奮の福ラストタイイ等は易奮の福ラストタイイ等は易をの駆いボーイらは癇癪を設して五人連と大鬼闘を設して五人を入院せしめるやまた暴力を振つたものと刺

・タイ イ、同用心体らが始末をつけたな質 常局には風出ぬこと再三に上版も質 と、今回の事件も知らぬ顔を してゐたもので、中央通署保証 してゐたもので、中央通署保証 と で 保では營業者がお客に暴力を振ふはもつての外と同ホールから始末書一礼、最も惡質 中が なボーイ文練園 (二二)を五もの 日間の拘留に附した

愛筋泥棒に大立廻り

見ン事斬り倒

ワカギ開店

件に應接、隱居お手柄

祀孔典

CAI

日素内

美郎

畵作

左約十二

電話③三六八七間へ御問合ありたし 電話の三六八七

淋

印刷及帳簿

三友社

疾

電



